

## 解答

一

問一 ① 巻 ② 非情 ③ にくしん ④ 風潮

問二 自分ではない誰かや、何かとのつながりによって、生きる力を得ているという存在。

問三 イ

問四 オ

問五 イ

問六 四苦八（苦）

問七 自分の欲望や願望を中心に、幸福や喜びを追いかけて、自己実現を求める生き方から、他者、あるいは世界からの問いかけに応えようと、無心に何かに取り組む生き方に転じること。

二

問一 ① 盛大 ② 鼻歌 ③ 舌

問二 ア

問三 2 首 5 息

問四 A エ B オ

問五 エ

問六 自分がゐていた（こと）

問七 母を見つけて緊張が緩みつつも、きちんと発表ができず、学校で「わけありの子」になってしまったことが母に知られてしまい、いたたまれない気持ち。

## 解説

一

問二 「フランクルのこの考え」とは、『誰か』があなたを待っていて、『何か』があなたを待っている」という考えです。――線―を含む段落で述べている、フランクルの考えが死んでしまいたいと思いつめていた人々に生きる力を与えた、という内容は、本文前半の終わりにも述べられているので「人間という存在の本質」に着目しながら、人間をどのような存在としてとらえているかについて説明します。

問四 フランクルは、自分ではない誰か、何かとのつながりによって生きる力を得ていると述べているので、選択肢オがあてはまります。

問七 本文の内容から、フランクルは、幸福追求や自己実現を求め続けても、きりがないので、永遠に満足することはない。自己実現は、他者や世界からの問いかけに応えようと、無心に何かに取り組むことによって自然と生じてくる。と考えていることがわかります。一つ目の（中略）の直後にある「フランクルが求めて」で始まる段落に、「生き方の転換」という言葉があるので、この段落の内容を参考にフランクルの考えを説明します。

二

問二 ――線―の前後からタケルの交通事故をきっかけに、まゆ子があまり口をきかなくなったことがわかります。まゆ子がふざけて呼び止めたために起きた事故であることを言い出せず、知らず知らずのうちに、のどから言葉がさえぎられていったという内容から、「話すことがつらくなっている状態」という記述を含む選択肢アが選べます。